b．ブドウ糖寒天培地　ペプトン10ｇ，酵母エキス３ｇ，ブドウ糖10ｇ，塩化ナトリウム５ｇ及び寒天15ｇを精製水1,000mlに加熱溶解し，滅菌後にpH7.4となるように補正し，121℃で15分間滅菌する。

c．ブドウ糖ブイヨン　ペプトン10ｇ，肉エキス５ｇ，ブドウ糖10ｇ及び塩化ナトリウム５ｇを精製水1,000mlに溶解し，滅菌後にpH7.0となるように補正し，試験管に分注した後，121℃で15分間滅菌する。

d．ブドウ糖寒天斜面　ペプトン10ｇ，酵母エキス３ｇ，ブドウ糖５ｇ，塩化ナトリウム５ｇ及び寒天13ｇを精製水1,000mlに加熱溶解し，滅菌後にpH7.4となるように補正し，試験管に分注した後，121℃で15分間滅菌する。

e．6.5％塩化ナトリウム加ブドウ糖ブイヨン　ペプトン10ｇ，肉エキス５ｇ，ブドウ糖10ｇ及び塩化ナトリウム65ｇを精製水1,000mlに溶解し，滅菌後にpH7.0となるように補正し，試験管に分注した後，121℃で15分間滅菌する。

③　緑膿菌試験法

イ　推定試験　10ml及び１mlの試料を，それぞれアスパラギンブイヨンに接種する。10mlの試料を接種するときは，倍濃度のアスパラギンブイヨン10mlを使用する。これを35.0±1.0℃で24±２時間培養した後，混濁の有無及び長波長（365nm）の紫外線灯下での蛍光の有無を観察する。混濁又は蛍光が認められないときは，更に培養を続けて48±３時間まで観察する。混濁を生じ，かつ，蛍光を認めたものを推定試験陽性とする。

ロ　確定試験　推定試験で陽性を示した試験管の１白金耳をセトリミド寒天培地に画線し，独立した集落を発生させる。35.0±1.0℃で48±３時間培養した後，類緑色又は赤褐色の集落を釣菌し，普通寒天斜面に移植する。41.5±0.5℃で24±２時間培養した後，菌の発育の有無を観察し，発育を認めたものについてオキシダーゼ試験を行う。オキシダーゼ試験において陽性を示したものについてグラム染色を行い，鏡検する。グラム陰性無芽胞の桿菌であれば，確定試験陽性（緑膿菌陽性）とする。

a．アスパラギンブイヨン　ＤＬ―アスパラギン３ｇ，リン酸二カリウム１ｇ及び硫酸マグネシウム0.5ｇを精製水1,000mlに溶解し，滅菌後にpH6.9～7.2となるように補正し，試験管に分注した後，121℃で15分間滅菌する。

b．セトリミド寒天培地　ペプトン20ｇ，塩化マグネシウム1.4ｇ，硫酸カリウム10ｇ，セトリミド0.3ｇ及び寒天15ｇを精製水1,000mlに加熱溶解し，滅菌後にpH7.0～7.4となるように補正し，121℃で15分間滅菌する。

２．ミネラルウォーター類のうち殺菌又は除菌を行うもの

次の表の第１欄に掲げる事項につき同表の第２欄に掲げる規格に適合するものでなければならない。

第　１　欄	第　２　欄
亜鉛	５mg／１以下であること。
カドミウム	0.003mg／１以下であること。
水銀	0.0005mg／１以下であること。
セレン	0.01mg／１以下であること。
銅	１mg／１以下であること。
鉛	0.05mg／１以下であること。
バリウム	１mg／１以下であること。
ヒ素	0.05mg／１以下であること。
マンガン	２mg／１以下であること。
六価クロム	0.05mg／１以下であること。
亜塩素酸	0.6mg／１以下であること。
塩素酸	0.6mg／１以下であること。
クロロホルム	0.06mg／１以下であること。
残留塩素	３mg／１以下であること。
シアン（シアンイオン及び塩化シアン）	0.01mg／１以下であること。
四塩化炭素	0.002mg／１以下であること。
1,4―ジオキサン	0.04mg／１以下であること。
ジクロロアセトニトリル	0.01mg／１以下であること。
1,2―ジクロロエタン	0.004mg／１以下であること。
ジクロロメタン	0.02mg／１以下であること。
シス―1,2―ジクロロエチレン及びトランス―1,2―ジクロロエチレン	シス体とトランス体の和として0.04mg／１以下であること。
ジブロモクロロメタン	0.1mg／１以下であること。
臭素酸	0.01mg／１以下であること。
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg／１以下であること。
総トリハロメタン	0.1mg／１以下であること。
テトラクロロエチレン	0.01mg／１以下であること。
トリクロロエチレン	0.004mg／１以下であること。
トルエン	0.4mg／１以下であること。
フッ素	２mg／１以下であること。
ブロモジクロロメタン	0.03mg／１以下であること。
ブロモホルム	0.09mg／１以下であること。
ベンゼン	0.01mg／１以下であること。
ホウ素	ホウ酸として30mg／１以下であること。
ホルムアルデヒド	0.08mg／１以下であること。